

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワーク I (4 単位)	3. 科目番号	SSMP2155
2. 授業担当教員	熊谷 大輔		SCMP2355
4. 授業形態	講義、グループディスカッション・作業及び発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	社会福祉士の役割と意義、相談援助の概念と範囲、歴史、理念、権利擁護の実際、相談援助に係る専門職の概念と範囲及び倫理、ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義について学ぶとともに、実践現場で活用するためのソーシャルワークの方法・技術を身に付ける。		
8. 学習目標	<p>学生には下記の目標を達成することが期待される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉士の役割（総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発含む）と意義について理解し説明できる。</li> <li>・相談援助の概念と範囲について理解し、説明できる。</li> <li>・相談援助の理念について理解し、説明できる。</li> <li>・相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解し、説明できる。</li> <li>・相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理について理解し、説明できる。</li> <li>・総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義の内容について理解し、説明できる。</li> </ul>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>(レポート課題)</p> <p>講義回数前半期 (14回目) 及び後半期 (28回目) にそれぞれ1回ずつ (計2回) レポートを課す。レポートの題目及び執筆規定については授業の中で指示する。主体的な学習によって理解を確かなものとし問題解決力を養うように努めること。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】</p> <p>社会福祉士養成講座編集委員会『新・社会福祉士養成講座 6 相談援助の基盤と専門職』第3版 中央法規出版, 2015年</p> <p>【参考書】</p> <p>東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。  東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。  東京福祉大学編『教職科目要説 (初等教育編)』ミネルヴァ書房。  東京福祉大学編『教職科目要説 (中等教育編)』ミネルヴァ書房。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 受講態度・参加姿勢 40% (全授業の3/4以上の出席が必要) 遅刻 (10分程度迄) は3回で1回休みとなる。</p> <p>2. 筆記試験とレポート試験を行う。60%</p> <p>○評定の方法</p> <p>1. 社会福祉士の役割 (総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発含む) と意義について理解し、説明できる。</p> <p>2. 相談援助の概念と範囲について理解し、説明できる。</p> <p>3. 相談援助の理念について理解し、説明できる。</p> <p>4. 相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解し、説明できる。</p> <p>5. 相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理について理解し、説明できる。</p> <p>6. 総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義の内容について理解し、説明できる。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>本学の基本方針として学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目的としている。履修者は社会福祉士になるための知識や技術の習得及び実践に向けた考え方の定着など、社会福祉士及び社会福祉の専門職になるための基礎的科目であることを理解する。履修者には主体的な講義への参加を期待する。なお、これらすべての講義内容については授業の理解度や進捗状況により学生への配慮を行う。</p>		
13. オフィスアワー	初回講義時に通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション：授業内容と進め方について (シラバス/講義概要/試験及びレポート説明など)	事前学習	事前にシラバスについて目を通しておく。
		事後学習	説明された内容について整理する。
第2回	社会福祉士の役割と意義①：社会福祉士及び介護福祉士法、社会福祉士の専門性について	事前学習	教科書の第1章を読み、理解を深めておく。
		事後学習	講義の中で学んだ専門性とは何かについて個人の見解をまとめておく。
第3回	社会福祉士の役割と意義②：現代社会に求められる専門職像と地域や家庭で起きていること	事前学習	新聞、その他資料により、現代の社会生活のなかで抱える困難についてまとめる。
		事後学習	講義の中で学んだ福祉的課題を整理した上で専門職像を考察し、まとめる。
第4回	相談援助の定義と構成要素①：ソーシャルワークに係る定義及び国際的定義について	事前学習	教科書第2章を読み、理解を深めておく。
		事後学習	講義の中で学んだソーシャルワークの定義について整理し、要点をまとめる。
第5回	相談援助の定義と構成要素②：ソーシャルワークの構成要素と各種システムについて	事前学習	教科書第2章を読み、理解を深めておく。
		事後学習	講義の中で学んだ構成要素とシステムについて整理し、要点をまとめる。

第6回	相談援助の定義と構成要素③：ソーシャルワーカーに求められるもの（知識／スキル／ものの捉え方／その他）	事前学習	「知識」「スキル」「ものの捉え方」の3つに分けた各グループにて情報収集をする。
		事後学習	講義の中で学んだ専門職としての技術について要点をまとめる。
第7回	相談援助の形成過程①：ソーシャルワークの源流について	事前学習	教科書の第3章を読み、理解を深めておく。
		事後学習	講義の中で学んだソーシャルワークの源流について整理し、要点をまとめる。
第8回	相談援助の形成過程②：ソーシャルワークの基礎確立期について	事前学習	教科書の第3章を読み、理解を深めておく。
		事後学習	講義の中で学んだソーシャルワークの基礎確立期について整理し、要点をまとめる。
第9回	相談援助の形成過程③：ソーシャルワークの発展期について	事前学習	教科書の第4章を読み、理解を深めておく。
		事後学習	講義の中で学んだソーシャルワークの発展期について整理し、要点をまとめる。
第10回	相談援助の形成過程④：ソーシャルワークの展開期について	事前学習	教科書の第4章を読み、理解を深めておく。
		事後学習	講義の中で学んだソーシャルワークの展開期について整理し、要点をまとめる。
第11回	相談援助の形成過程に関するまとめ：（ディスカッション）	事前学習	事前に与えられた「テーマ」について情報収集をしておく。
		事後学習	他者とのディスカッションを通して得たものをまとめる。
第12回	相談援助の理念①：自己価値の理解（ソーシャルワーク実践と価値）	事前学習	現代社会の課題に関する資料を新聞、その他資料より収集しておく。
		事後学習	講義の中で学んだ専門職の価値について要点をまとめる。
第13回	相談援助の理念②：誰のための権利擁護か（ソーシャルワーク実践と権利擁護）	事前学習	成年後見制度に関する資料を新聞、その他資料より収集しておく。
		事後学習	講義の中で学んだ専門職が対峙する権利擁護について要点をまとめる。
第14回	相談援助の理念③：本当の自立支援とは（社会的包摂・ノーマライゼーション）	事前学習	現代社会における差別に関する資料を新聞、その他資料より収集しておく。
		事後学習	講義の中で学んだ専門職が実践する自立支援について要点をまとめる。
第15回	複数の事例による検討：専門性とももの見方	事前学習	事前に与えられた事例について関連する機関及び職種等について理解を深めておく。
		事後学習	実施した事例検討内容をまとめておく。
第16回	これまでの振り返りと中間試験の実施	事前学習	第2回～第15回までの重要な項目について整理する。
		事後学習	中間試験の内容について振り返る。
第17回	専門職倫理と倫理的ジレンマ①：専門職という枠組み（専門職倫理の概念理解／倫理綱領と行動規範の理解）	事前学習	教科書の第7章を読み、理解を深めておく。
		事後学習	講義の中で学んだ専門職倫理について整理し、要点をまとめる。
第18回	専門職倫理と倫理的ジレンマ②：専門職からの脱出（実践における倫理的ジレンマとその判断）	事前学習	教科書の第7章を読み、理解を深めておく。
		事後学習	講義の中で学んだ専門職にみる倫理的ジレンマについて整理し、要点をまとめる。
第19回	総合的かつ包括的な相談援助の全体像①：何をするか（現代社会に求められる相談援助とその背景）	事前学習	教科書の第8章を読み、理解を深めておく。
		事後学習	講義の中で学んだ相談援助技術について整理し、要点をまとめる。
第20回	総合的かつ包括的な相談援助の全体像②：何を見るか（地域を基盤としたソーシャルワークの基本的視座）	事前学習	教科書の第8章を読み、理解を深めておく。
		事後学習	講義の中で学んだ基本的視座について整理し、要点をまとめる。
第21回	総合的かつ包括的な相談援助の全体像③：何を知るか（ソーシャルワーク事例における支援内容の発表）	事前学習	教科書の第8章を読み、理解を深めておく。
		事後学習	講義の中で実施した発表内容についてまとめる。
第22回	総合的かつ包括的な相談援助を支える理論①：（ケースワーク／グループワーク／コミュニティワーク／ジェネラリストソーシャルワーク／その他）	事前学習	教科書の第9章を読み、理解を深めておく。
		事後学習	講義の中で学んだ相談援助技術の種類について整理し、要点をまとめる。
第23回	総合的かつ包括的な相談援助を支える理論②：（システム思考とエコシステム）	事前学習	教科書の第9章を読み、理解を深めておく。
		事後学習	講義の中で学んだシステム思考・エコシステムについて整理し、要点をまとめる。
第24回	総合的かつ包括的な相談援助を支える理論③：（ストレングス／パースペクティブ／マルチシステム）	事前学習	教科書の第9章を読み、理解を深めておく。
		事後学習	講義の中で学んだ各種理論を整理し、要点をまとめる。
第25回	相談援助に関連した専門職の概念と範囲①：（相談援助専門職の概念）	事前学習	教科書の第10章を読み、理解を深めておく。
		事後学習	講義の中で学んだ相談援助専門職の概念について考察した上で要点をまとめる。

第 2 6 回	相談援助に関連した専門職の概念と範囲②： (相談援助専門職の範囲／諸外国の動向／その他)	事前学習	教科書の第 10 章を読み、理解を深めておく。
		事後学習	講義の中で学んだ諸外国の動向について整理し、要点をまとめる。
第 2 7 回	総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能①： (予防機能／ニーズ対応)	事前学習	教科書の第 11 章を読み、理解を深めておく。
		事後学習	講義の中で学んだ予防機能・ニーズ対応について整理し、要点をまとめる。
第 2 8 回	総合的かつ包括的な相談援助における専門的機能②： (社会資源の開発と活用)	事前学習	教科書の第 11 章を読み、理解を深めておく。
		事後学習	講義の中で学んだ社会資源の開発・活用について整理し、要点をまとめる。
第 2 9 回	全体のまとめと提案：新たな時代に求められる専門職 (専門職の考え方／捉え方／実践の仕方／その他)	事前学習	新聞やその他資料を参考に今後、求められる専門職像をイメージしておく。
		事後学習	今後、求められる専門職像を個人の中で確立する。
第 3 0 回	これまでの振り返りと中間試験の実施	事前学習	第 17 回から第 29 回までの重要な項目について整理する。
		事後学習	中間試験内容を振り返る。